

とよなか 景観特集 まちづくり 手帖

令和5年(2023年)
3月発行

第19号

豊中市都市デザイン賞 表彰式典

第19号では、
景観まちづくりの情報を
お届けします♪



令和4年1月28日開催 第9回豊中市都市デザイン賞表彰式典

INDEX

- それゆけ!まちづくり探検隊!!
～第9回豊中市都市デザイン賞 受賞者インタビュー～ 1～4P
- 景観まちづくり揭示板 5・6P
- ご存知ですか?まちなみを守り・つくり・育て・いかすルールづくり
～都市景観形成推進地区制度のご紹介～ 7P



(回覧)



40万人の
とよなか
未来バトン

SDGs to 2030

※新型コロナウイルス感染対策に配慮し、取材を行っております。

それゆけ!

まちづくり探検隊!!



受賞者インタビュー

【活動部門編】

アジサイの植樹・管理および竹林の管理、散歩道の掃除など

自治会のみなさんで立ち上げた、新千里南町3丁目幅広川の整備・清掃活動をされているボランティア団体です!

豊中市制85周年事業として令和3年度に実施した第9回豊中市都市デザイン賞。活動部門では“ステキ”まちなみを創る、魅力あるまちづくり活動団体を有識者が選考して、4団体が受賞した!今回は受賞団体のみなさんに、日頃の活動内容や活動への思いなどを取材してきたワニ〜♪

『天竺川ホテルの会』ってどんな団体なの?

一言で言えば“**地域を美しく安全にしようと活動しているグループ**”です。15年前の自治会で、町内を流れる天竺川は昔は「虫が舞い、子どもが水浴びしていた」のに今は汚れて悪臭を放つ。なんとかしよう、清掃のみでなく水も清めてホテルも呼び戻そう。夢もあるし、リタイアした元営生ご亭主たちの格好な活動の場として立ち上げたのが原点であり名前の由来です。

どんな活動をしているんですか?

主な活動は次の3つです。①天竺川を定期的に清掃しホテルを飛ばす。(水が汚れるとホテルの餌となるカワナガが死滅するので疎かにできません。)ただし、今までの場所(犬走)では人工光雪でホテルが繁殖できないため、今年から竹林の中の旧農業用水路に飼育地を替えました。②6ha程の竹林の雑草刈りと間伐。(一部を竹炭にして川に沈め水質改善をしました。)③660mの散歩道の両側にアジサイを植え付け、「アジサイ道路」を作っています。

今後の目標はなんですか?

今まで750株・400種類ほど植えてきたので、**今年で1000株を目指しています**。アジサイを植えている場所は多くありますが、1000株はなかなかないでしょう?

活動団体: 天竺川ホテルの会
活動場所: 新千里南町3丁目「千里緑地第4区」
問合せ先: (06)6833-8186 (代表: 深津さん)
取材協力: 会長: 深津 洋三さん

会長: 深津 洋三さん



年末に散歩道を清掃し、集めた木の葉400余袋を堆肥にすべく、水と小枝を混ぜ、踏み固めながら積み上げたところです。



毎年6月上旬〜7月上旬頃が見ごろ。暗かった道が今では近隣の方々の散歩コースに。

まち歩き案内を通して豊中の魅力発信活動

「原田しろあと館」の維持・管理をはじめ、市内の遺跡や文化財のガイドを通じて豊中の魅力発信を行っているボランティア団体です!

今までどれくらいの案内をしてきたの?

吉岡さん: **10年程活動してきて約250件、5000人強の方にガイドをしてきました**。
多い時は年間で700人以上にガイドをしていました。

この活動はどうやって始まったの?

山田さん: 阪急電鉄等主催の阪急宝塚線沿線観光あるきに協力したことがきっかけです。
企画当初、「豊中市にまちあるき案内活動をする団体がない」という声があり、「史跡管理活動だけでなく外に発信する活動もしてみよう」と、当会の有志で始めました。その後市民募集も始め、まちあるき案内活動の幅を広げていきました。

活動のやりがいや面白く感じることは?

吉岡さん: この活動をするまでは、市内に住んでいても遺跡や文化財などをほとんど知りませんでした。活動を通じて私自身も豊中を知ることができて楽しいです。豊中の文化財や遺跡は教科書に載るようなものは多くないですが、普段目にはしている身近なところに歴史的エピソードがあるという所に面白味があると思います。

受賞をした感想を教えてください!

山田さん: 手前味噌ですが、長年の活動の中で、**私たちなりのカラーを出して活動できたことが評価されたと感じています**。
これから私たち団体も高齢化していくので、新しい担い手が育ってくれればいいなと思っています。

活動団体: 特定非営利活動法人とよなか・歴史と文化の会
活動場所: 豊中市全域の景観スポット・遺跡及び文化財など
問合せ先: (06)6841-3725 (土日 12時~16時)
取材協力: 代表理事: 吉岡 正起さん
理事: 山田 哲夫さん



代表理事: 吉岡 正起さん 理事: 山田 哲夫さん



イメージしやすいように写真を使用しながらガイドすることも。



コース外でも道すがら即興でガイド中。豆知識が場を賑わせます。

豊中市では、魅力ある都市景観を形成していくためには、市民・事業者の方々に景観を意識していただくことが第一歩と考えています。
そのため、良好な景観の募集から賞の選考・投票、表彰・公表に至る一連の取り組みを通じて、豊中のまちなみへの好感・共感の輪を広げ、「住み続けたい、住んでよかった」と実感できるまちなみづくりや、自ら良好な景観を大切にする意識の醸成につなげることを目的として「豊中市都市デザイン賞」を5年毎に開催しており、令和3年度は「第9回豊中市都市デザイン賞」を開催しました。

【豊中市都市デザイン賞】

建物の意匠や形態、周辺の自然やまちなみとの調和に優れた建物等や魅力あるまちづくり活動団体を応募、選考基準に基づき、有識者が選考を行い、建物等の所有者・設計者の方や活動団体の方の功績をたたえる賞。

千里川および散歩道の清掃と花壇活動

千里川の周辺を整備・清掃されている、企業の地域貢献活動から始まったボランティア団体です。

『千里川をきれいにする会』ってどんな団体なの?

平谷さん: **「企業体として地域貢献をしよう」という考えから立ち上げたボランティア団体**です。当社の従業員と、団体に加入して下さったボランティアの方々が活動をしています。

この活動はどうやって始まったの?

杉山さん: **事務所を豊中に構えたときから、社長(平谷さん)が近くを流れる千里川が汚いことを気にして、私自身も橋の花壇が枯れていたのを目にして、手入れをしたいと思い、ボランティア団体に登録して活動を始めました**。団体が認定された頃、もともと個人で周辺を掃除して下さっていた方たちが声をかけてくださり、今の『従業員+ボランティア』で活動するというスタイルが確立しました。

どんな活動をしているんですか?

平谷さん: **景観を維持するのは女性のみなさんの力が大きい**です。
夏に入る前に伐採や雑草刈りなどを重点的に取り組み、秋冬は側溝にたまる落ち葉や川に堆積する松葉とゴミ拾いを中心に行っています。

やりがいを教えてください!

狭間さん: 清掃をしていると、「川がきれいになってくれてうれしい、ありがとう」などお礼を伝えてくださる方が多くいて、**活動が出会うの場所になることもあるんです**。

平谷さん: **私は、企業と入って地域があるから成り立っていると思っています**。だから私たち企業体は、地域のために些細なことでも貢献できることを探して活動しています。ボランティアの方もこの活動が元気の源となっているようで、健康維持の観点からもこの活動が活かされていると感じています。

公園の清掃および花壇の花苗の植替えや育成管理

今回受賞した活動団体で最長!1969年から庄内西町公園の花壇を管理されている自治会です。

この活動はどうやって始まったの?

清掃活動は公園開設以来行っていましたが、**花壇作りは5代前の会長の提案で始まりました**。
当時の公園周辺は草木が伸び放題で、放置自転車である状態だったんです。会長や有志の方々が勉強されて、種からの育苗・花植え・雑草取り・水遣り等の花壇作りを教わりました。自治会を中心に皆さん和気あいあいをモットーに活動を続けています。

どんな活動をしているんですか?

月2回の公園清掃と6月・12月に花苗植え付けを行っています。
植え付け後は2人1組の週当番での水遣り・雑草取り・花柄摘み等を行っています。

デザイン賞受賞の感想を教えてください!

最初「都市デザイン賞」の名称でイメージしていたのはやはり建物だったので、**自治会が受賞するとは思わずびっくりしました。ハード面だけでなくまちづくり活動も表彰されているんですね**。

今後もこの活動を続けていくためにも、受賞をきっかけに参加してくれる人が増えるといいなと思いました。

活動団体: 千里川をきれいにする会
活動場所: ロマンチック街道沿い 野燐橋~水田橋
問合せ先: 0120-1212-86
取材協力: 株式会社アソシエート 代表取締役 平谷 一夫さん
株式会社アソシエート チーフマネージャー 杉山 朝美さん
狭間さん



株式会社アソシエート チーフマネージャー 杉山 朝美さん
株式会社アソシエート 代表取締役 平谷 一夫さん
狭間さん



橋の下まで降りてゴミ拾い。長靴で川の中まで入りゴミを拾います。



花壇・橋周辺の雑草取り中。「ボランティアの方は早くして丁寧なので雑草があまり生えてこなくなりました」

活動団体: 親和自治会
活動場所: 庄内西町公園
問合せ先: (06) 6333-4450 (代表: 山崎さん)
取材協力: 山崎 豊彦さん



山崎 豊彦さん

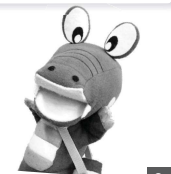


植替えスタート。猛暑のためテキパキと終わらせていきます。



和気あいあいとした雰囲気でも活動が進んでいます。

みんなの力でまちなみはつくられているんだね! みんなの活動に拍手!!!
活動に興味のある人はぜひ参加してほしいワニ〜♪
次のページでは、[建物等部門]の受賞者さんにインタビューしているよ! レッツ、ゴ〜!



受賞者インタビュー [建物等部門編]

アトリオみなみおかこども園

子ども達の遊ぶ様子を「見せる」、これからのこども園の形を先取りした好事例



デザインに込めた思いを教えてください！

人と人のつながりを増やす為に、視線が様々なところに抜ける様に配慮しています。例えば道路や保育園の内外に厨房やダイニングが接して開放的になっていたり、その続きに外廊下、中庭を配し、子どもの活動が常に街から感じられたり、子ども達が園外で起きている事を感じられる状況を作り出しています。各保育室についても中庭側、廊下側には大きな窓を設け、異年齢同士での活動や視線が交わるように促し、お互いの存在を感じながら生活出来る様になっています。結果として子ども達が人と人との触れ合いの中で成長することで、ここを巣立った子ども達の社会性やコミュニティ能力が養われ、実社会での一助になる事を願っています。



【設計者】株式会社口比野設計
代表取締役会長
口比野 拓(のびの) たくさん



建物等部門では建物の意匠や形態、周辺の自然やまちなみとの調和に優れた、“ステキ”なまちなみを創る建物等として5物件が受賞したよ！今回は受賞物件の建築に携わった方の代表者のみなさんに、物件の魅力や設計への思いなどを取材してきたワニ〜！



「景観」の観点でこだわりポイントはなんですか？

私達は、保育園は子ども達の人間形成の場であると捉えており、この土地の歴史や原風景を子ども達に伝える事が大切であると考え、団地の特徴を再解釈と定義をし、更には地域コミュニティの中心となる様に人と人とのつながりが感じられる保育園として計画しました。



建築設計関係者の方に、
玄人向けアピールポイントをどうぞ！

今は防犯上の観点から、街に対して閉ざした保育園が多い中で、開く事で常に地域から見守られ、ヒューマンセキュリティな環境を創り出す事で、豊かな地域社会が育まれると考えました。こうした考えはお施主様との考えの共有が非常に大切であると考えています。建築と運営のソフトとハードが一致してこそより魅力的な建築になると考えており、同じ方向性を持って計画を進められた事が受賞に繋がったのだと感じています。

街区名称「SENrito」 商業施設名称「SENritoよみうり」 住宅施設名称「シエリアタワー千里中央」

旧よみうり文化センターを建て替えた、千里中央の新ランドマーク的存在



受賞が決定した時はどんな気持ちでしたか？

菊池さん：長期にわたり数多くの関係者の方々にもご協力をいただき、竣工を迎えられたプロジェクトでしたので、その集大成として受賞できたことを大変嬉しく思っております。



【所有者】株式会社読売新聞大阪本社
社長 岡田 不動産・DX担当 総務
菊池 隆(せくら たかし) さん



「景観」の観点でこだわりポイントはなんですか？

一階さん：商業施設は、旧施設の「面影」を残したいとの想いから赤レンガの外装イメージを継承し、暖かみのある色調のタイル打ち込みPC板を採用しています。住宅施設は、交通の結節点となる千里中央地区の立地を考慮し高さ約184m・階数52Fのタワー状とし市内や遠方からも視認できるランドマークとして計画しました。



【設計者】株式会社日建設計
設計部門 ディレクター
一階 穂之(いっかい としゆき) さん



建築設計関係者の方に、玄人向けアピールポイントをどうぞ！

徳原さん：外装タイルは、PC板打ち込みとし幅300mm×高さ100mmの風合いの感じられる特殊表面加工を行った複数色のタイルを模様貼りとし、「面影」を表現しました。街区全体としては複数回の風洞実験を行い地域への影響を考慮した棟配置を検討するとともに緑化をはじめ様々な手法を用いることで環境性能的にも高い計画としています。



【設計者】株式会社日建設計
設計部門 プロジェクトアーキテクト
徳原 清(とくはら せい) さん



アサヒファシリティズ蛭池寮 楓

地域の緑化に貢献しながらも、洗練されたデザインが美しい社員寮



受賞が決定した時はどんな気持ちでしたか？

公共施設のような誰もが目にする大きな建物ではなく、住宅街に建つ小さな建物でするので、受賞のご連絡をいただいたときには大変驚きました。



デザインに込めた思いを教えてください！

計画地周辺は古くからの住宅街で、大きなお庭のある住宅も多く残っている豊かな地域です。一方で、開発が進むことでかつては緑が飛び交っていたという自然の景観が徐々に失われ、まちに潤いをもたらす緑が減ってきているという現実があります。設計に当たっては、居住者の豊かな住まいを実現すると同時に、ランドスケープデザインでそのようなまちの景観向上にも寄与したいという想いがありました。



「景観」の観点でこだわりポイントはなんですか？

用途は企業の独身寮というプライベートな建物ですが、設計においては閉じられた空間ではなく、外構や中庭も含めて都市の景観の一部であるように、可能な限りまちに開いた配置としました。道路からみどりのレイヤーを重ねるように、道路沿いの植栽、建物に囲まれた中庭、そしてその奥の植栽まで視線が抜けていくように計画しています。植栽計画では、潜在自然植生を参考に樹種を選定し、アスファルトや建物に覆われてしまったこの地域の景観を取り戻すささやかな試みをおこなっています。



建築設計関係者の方に、玄人向けアピールポイントをどうぞ！

同時に矩形ボリュームと大きな開口部をピュアなカタチで感じられるよう、換気口や室外機等が目立たないようにプランの工夫をしています。また、快適な居住性と環境負荷低減のため、断熱サッシの採用や太陽光発電パネルの設置などでZEH-M Readyに適合した省エネ性能を実現しています。



【設計者・施工者】
株式会社竹中工務店 大阪本店
設計部 設計第5部門 設計3グループ
チーフアーキテクト
大松 俊祐(だいます けんすけ) さん



新千里南町の二世帯住宅

木・黒・緑のコントラストが美しく、
まちなみを先導するデザインの長屋



受賞が決定した時はどんな気持ちでしたか？

驚きと共に関わっていただいた方々の苦労が報われた気持ちで、有難く思いました。これからもこの建物に関わっていくかなければならないと感じております。



「景観」の観点でこだわりポイントはなんですか？

緑地公園の緑と道路を挟み対峙する敷地であり、その緑との連続性を考え、道路沿いの空間を塀などで閉ざすことなく開かれた植栽空間とし景観へ配慮しました。植えられた木々が育ち緑の街路樹空間となることを願いました。



建築設計関係者の方に、玄人向けアピールポイントをどうぞ！

デザイン性を落とすことなく、性能にもこだわった建物です。耐震性・断熱性も最高基準で、景観を乱すことのないように太陽光パネルを設置して創エネにも取り組んでいます。持続可能でカーボンニュートラルなものを目指しました。

【設計者】ナグナデザイン
代表 鈴木 学(すずき まなぶ) さん

所在地：新千里南町 1 丁目
建築主：富谷 寛卓
設計者：ナグナデザイン
施工者：ランドコーポレーション株式会社



グランダ豊中

歴史ある住宅地に溶け込む、和の趣と
現代意匠が融合した有料老人ホーム



受賞が決定した時はどんな気持ちでしたか？

非常にうれしかったです。街並みの景観形成に寄与した建物だと評価頂いたことは私たち設計・施工者だけでなくオーナー様や事業者様に対しても喜ばしいことだと思います。今後このような思いを頂けるよう頑張りたいと思います。



デザインに込めた思いを教えてください！

旧母屋が和風の建物であったため、計画建物も周辺地域と調和するよう和を感じさせる瓦葺の庇や木目調の格子手摺にて建物を構成しました。連続したバルコニーは単調にならないよう規則的にグリッドを組み、庇高さをすることで陰影をつくり趣あるデザインとしています。



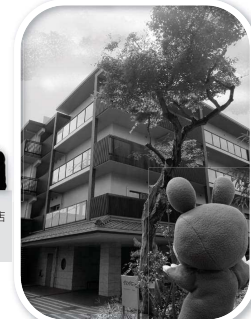
「景観」の観点でこだわりポイントはなんですか？

オーナー様から紅葉と桜の既存樹を残して欲しいとの要望がありました。アプローチ横の紅葉は建物の顔として周辺地域に溶け込み、外に開放する役割を持たせ、中庭の桜は入居者の暮らしを潤すように開放する役割を持たせています。その2本の既存樹を残しながら旧邸で使われていた景石や灯籠、水鉢など約40点を新築の庭園に再利用しました。外壁は白と黒を基調にすることで既存樹がより引き立つよう意識しています。



【設計者・施工者】
積水ハウス株式会社 西日本特建支店
企画設計室 室長
森 聡樹(もり しのぶ) さん

所在地：岡町南 1 丁目
建築主：インテグラル・タウ株式会社
設計者：積水ハウス株式会社 西日本特建支店
施工者：積水ハウス株式会社 西日本特建支店



受賞物件・作品の詳細や、過去の受賞物件・作品については、
市ホームページをご覧ください。

景観形成係 TEL:06-6858-3143



中学生・高校生が描いたイラストを掲載！

『発見!とよなか景観スケッチブック2022』・
『とよなか景観まちあるきブック2022』を作成しました

NPO法人とよなか・歴史と文化の会(曾根西町)の方にまち案内人として
お越しいたゞ、市立第十八中学校(蟹池小町)の2年生のみなさんと第十八中学校
区内の景観スポットを、大商学園高等学校(利倉東)美術部の生徒と有志の生徒のみなさん
と石橋阪大前駅～豊中駅周辺の景観スポットをめぐるまち歩きを行い、参加者が見て・感じた
景観のスケッチ等を制作しました。

また、これらのスケッチ作品を通じて市民のみなさんに市内の景観スポットをご紹介しますこと
で、豊中市のまちなみを再発見する機会や、世代を超えて子どもから大人まで景観に親しみ、共
感の輪を広げていただくことを目的として、冊子を作成しました。ぜひ手に取って、描かれた景観
スポットを実際に訪れてみてください

冊子は都市計画課窓口(市役所第二庁舎4階)で配布しています。
※冊子は数に限りがございます



スケッチブック等は
市ホームページでも
ご覧いただけます。



中学生が描いたスケッチを掲載
『発見!とよなか景観スケッチブック2022』



高校生が描いたスケッチを掲載
『とよなか景観まちあるきブック2022』

中学生まち歩き

令和4年5月23日(月)
24日(火)実施

【場所】豊中市立第十八中学校区
【参加】豊中市立第十八中学校2年生

景観スポット

第十八中学校 → ①アサヒファシリティズ池田寮 → ②麻田耕地整理記念碑 → 圓満寺(円満寺) →
御神山古墳 → ③麻田藩陣屋門(小谷家) → 麻田藩陣屋跡 → あっぷるこども園 → 第十八中学校と山所池



スケッチの材料にするため、ス
ポットの写真撮影する生徒
(場所①)



山田さんの景観スポットの説明
を聞きながらまちあるき
(場所②)



歴史的背景や景観の特徴をまち
歩きで学び、スケッチに挑みます
(場所③)

高校生まち歩き

令和4年6月18日(土)実施

【場所】石橋阪大前駅～豊中駅周辺
【参加】大商学園高等学校
美術部・生徒有志

景観スポット

阪急石橋阪大前駅 → ①大阪大学総合学術博物館 → 待兼山 → 大阪大学共通教育本館 →
大阪大学豊中キャンパスの並木 → ②北谷の井戸 → 首なし地藏 → 常楽寺 → 麻田藩陣屋門 → 道標 →
法雲寺 → ③稲荷神社(本町) → カトリック豊中教会(本町) → 阪急豊中駅

身近なまちの景観について積極的に学び、楽しんでいただきました。暑い中、ありがとうございました!

NPO法人 とよなか・歴史と文化の会

市の委託を受け、「原田しろあど館(原田城跡・旧羽室家住宅)」の保存と
活用に取り組んでいます。

また、市内の遺産や文化財のガイドを通じて「わがまち豊中」の再発見と
魅力の発信を行い、歴史と文化の側面からまちづくりに貢献されている
ボランティア団体です。このまちあるき案内活動は、「第9回豊中市都市
デザイン賞(活動部門)」を受賞しています。



代表理事 吉岡正起さん 理事 山田哲夫さん
NPO法人 とよなか・歴史と文化の会へのお問合せ
TEL:06-6841-3725(土・日 12時～16時)

景観スポット再発見

“豊中かいわいをスケッチしよう!講座” &
“豊中かいわいスケッチ展”を開催しました!

豊中市内には、身近に親しまれる景観スポットがたくさんあります。その景観スポットを広く市民の
方々にPRするために、都市計画課と千里公民館が共催で「豊中かいわいをスケッチしよう!」講座と
「豊中かいわいスケッチ展」を開催しました。

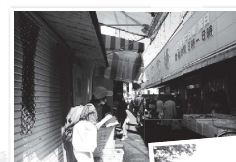
豊中かいわいをスケッチしよう!講座

豊中市内のさまざまな景観をスケッチする講座で、今年で11回目の開催となりました!市内のさまざまな景観スポ
ットを選定し、講座を通じて皆さんに、豊中の魅力ある景観に触れていただいています。基礎から学べる講座のため、今年も
初心者から熟練の方まで幅広く受講されました。初めて参加される方も先生の助言をもらいながら筆を進め、講座終了
後には作品について先生からの講評をいただきました。

スケッチ講座の様子

第11回 スケッチポイント(全4回)

- 10/6 ① 千里アートロード(新千里西町)
- 10/13 ② 服部天神宮(服部元町)
- 10/20 ③ 豊南市場(庄内東町)
- 10/27 ④ カトリック豊中教会(本町)付近

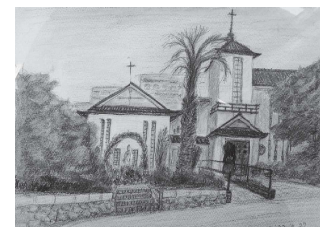


【講師】米田 肇弘氏
(二科会会員)

豊中かいわいスケッチ展

市民や来庁者の方々に、市内にある景観スポットをご紹介
するため、「豊中かいわいをスケッチしよう!」講座で訪れた
景観スポットを中心に、受講者の皆さんの、豊中の魅力ある景観の
スケッチ作品を展示しました。

今年は受講者作品22点、講師作品3点の合計25点の作品が会場
に並び、来場者合計319名と多くの方々にご鑑賞いただきました。



“豊中かいわいをスケッチしよう!講座”及び“豊中かいわいスケッチ展”は今年
度をもって終了しました。今後の景観啓発の取組みについては、決まり次第
「広報とよなか」や市ホームページなどでご案内します。



都市計画課 景観形成係
TEL:06-6858-3143

ご存知ですか? まちなみを守り・つくり・育て・いかすルールづくり

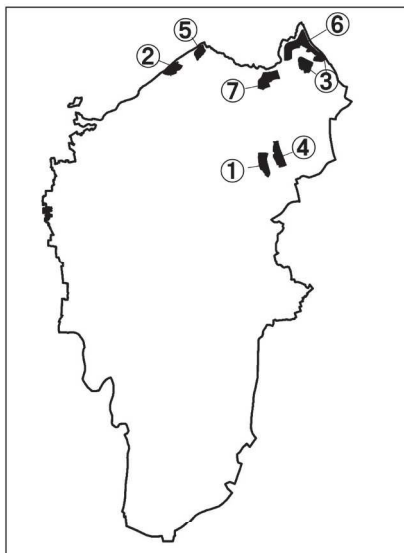
～都市景観形成推進地区制度のご紹介～

豊中市では、良好な都市景観を推進していくことを目的として、景観計画区域(市全域)を対象に、一定規模以上の建築や開発行為に対して、景観法及び、豊中市都市景観条例による届出を義務付けています。

その中で、自分たちの住むまちを守り・育てたいという思いから、それぞれのまちの特色や実情、まちづくりの目標などを踏まえ、住民のみなさんが主体となって、まちなみのルールを定めることができる制度があります。

今回は、「景観」に関する制度の「都市景観形成推進地区」についてご紹介します。

都市景観形成推進地区を定めるとどうなるの?



市への届出が必要な行為を都市景観条例に定めることで、建築確認申請の前に必ず市へ届出をすることになります。その内容がみなさんの定めたルールに合わない場合、市から勧告や変更命令を行う対象になります。

根拠法令 景観法
豊中市都市景観条例

素案作成
・申出

住民のみなさん

運用

豊中市

市内では、7地区が指定されています。(R4年12月末現在)

- ①新千里南町2丁目地区・----- (平成26年10月指定)
- ②永楽荘地区・----- (平成27年10月指定)
- ③新千里北住宅地区・----- (平成28年10月指定)
- ④新千里南住宅地区・----- (平成28年10月指定)
- ⑤北緑丘1丁目地区・----- (令和2年3月指定)
- ⑥新千里北町2丁目地区・----- (令和2年10月指定)
- ⑦新千里西町3丁目地区・----- (令和3年12月指定)

都市景観形成推進地区策定までのステップとさまざまな支援制度



①まちづくりの発意、組織づくり

みなさんが住むまちのあり方・将来像を考え、どんなまちにしていきたいかを探り、そのまちづくりに必要なルールをつくるための組織を作り、地区まちづくり団体として登録します。

使用できる支援制度

●出前講座 ●まちづくり講座



②都市景観形成推進地区の素案の検討

①で考えたまちの将来像をさらに具体的に考え、まちにふさわしいルール案を検討していきます。

使用できる支援制度

●アドバイザー派遣 ●コンサルタント派遣
●活動費助成 ※上限あり(地区まちづくり団体の登録が必要)



③合意形成、都市景観形成推進地区の素案の決定・市へ申し出

②のルール案について、住民のみなさんに意向確認を行います。その結果、多数の賛同が得られた項目について素案を作成し、市へ申し出を行います。

使用できる支援制度

●アドバイザー派遣 ●コンサルタント派遣
●活動費助成 ※上限あり(地区まちづくり団体の登録が必要)



④法定手続き、景観計画の変更・条例改正

③の申し出をもとに、市が都市景観形成推進地区の指定に向けて手続きを進めます。景観計画および条例への位置づけを行うことで、法的な拘束力が生まれます。

指定後は建築確認申請前に、ルールに合う内容であるかを市が必ず確認します。

みなさんの住むまちも、景観ルールづくりに都市景観形成推進地区の制度を活用してみませんか?

手続きや、支援制度について詳しくお知りになりたい方は、

都市計画課 景観形成係までお気軽にお問い合わせください。 TEL 06-6858-3143

